

令和8年10月2日
京都市立芸術大学

令和10年度(2028 年度)京都市立芸術大学
音楽学部音楽学専攻における入学試験の変更について(予告)

京都市立芸術大学音楽学部では、令和10年(2028 年)3月に実施する令和10年度(2028 年度)音楽学部入学試験から、音楽学専攻の入学試験の実施方法を変更します。音楽学専攻が対象とする領域に対する幅広い素養を測るため、「大学入学共通テストで受験を要する教科等」の選択科目に「理科」を追加します。また、従来、第一次試験において提出を求めている事前提出物を廃止し、第一次試験を英語(60分)と小論文(60分)により構成します。第二次試験については従来通り、与えられた課題に対するプレゼンテーションを実施しますが、出願時に、発表のタイトルとキーワードを提出するように求めます。これらの変更に伴い、第一次試験の配点を変更します。

なお、これらの変更は、音楽学部音楽学専攻アドミッションポリシーのうち「入学前に身につけてほしい力」に基づきます。https://www.kcua.ac.jp/profile/policy/music_policy/

(抜粋)

音楽に対する関心に加えて総合的な俯瞰能力を有する者を求めます。それに当たって以下に掲げる基礎的な学力が受入の際の評価の対象となります。

- 高等学校の教育課程の教科・科目の履修により培われる論理的思考能力
- 高等学校の教育課程の教科・科目で習得した内容を活用する能力
- 国語・外国語を用いたコミュニケーションならびに自己表現の能力

これらの変更に伴い、「入学試験の基本的な考え方・方針」を以下のように変更します。

※変更部分を下線で示しています。

変更前	変更後
本学での音楽学の専門教育を受けるに足る基礎的な学力を評価するため、大学入学共通テスト(国語、外国語等)を課します(社会人特別選抜を除く)。 第一次試験では、本学での音楽学の専門教育を受けるに足る語学力を評価するとともに、学術的研究に必要な着眼力、問題提起能力、課題解決に向けた発想力、論理的思考力及び文章構成力を、学生募集要項の発表と同時に公開する課題に対する事前提出物によって測ります。 第二次試験では、音楽に対する学術的研究を実践する上で必要となる着眼力、問題提起	本学での音楽学<u>専攻</u>における専門教育を受けるに足る基礎的な学力を評価するため、大学入学共通テスト(国語、外国語等)を課します(社会人特別選抜を除く)。 第一次試験では、本学での音楽学<u>専攻</u>における専門教育を受けるに足る<u>語学力、論理的思考力及び文章構成力</u>を測ります。<u>これは「入学前に身につけてほしい力」のうち、「高等学校の教育課程の教科・科目の履修により培われる論理的思考能力」および「国語・外国語を用いたコミュニケーションならびに自己表現の能力」に対応するものです。</u>

能力、課題解決に向けた発想力、論理的思考力、プレゼンテーションや討論などのコミュニケーション能力を測るために、主に事前提出物で論じた内容に関する口頭試問を実施します。 以上の試験の成績を総合的に判断し、最終合否判定を行います。	第二次試験では、音楽に対する学術的研究を実践する上で必要となる着眼力、問題提起能力、課題解決に向けた発想力、論理的思考力、プレゼンテーションや討論などのコミュニケーション能力を<u>総合的に測ります。これは「入学前に身につけてほしい力」のうち、「高等学校の教育課程の教科・科目で習得した内容を活用する能力」に対応するものです。</u> 以上の試験の成績を総合的に判断し、最終合否判定を行います。
---	---

変更後の試験内容については以下のとおりです。

今後下記の内容に修正がある場合は、大学ホームページでお知らせします。

1 入学試験の実施方法

	変更前	変更後
大学入学共通テストで受験を要する教科等	国語「国語」200 点 地理歴史・公民・数学・情報 「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学 A」「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」「情報Ⅰ」から 1 科目選択 ※「地理総合／歴史総合／公共」は、2 出題範囲を選択解答すること 素点 100 点を200 点に換算 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から 1 科目選択 200 点	国語「国語」200 点 地理歴史・公民・数学・情報・理科 「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学 A」「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」「情報Ⅰ」「<u>物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎</u>」「物理」「化学」「生物」「地学」から 1 科目選択 ※「地理総合／歴史総合／公共」および「<u>物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎</u>」は、2出題範囲を選択解答すること 素点 100 点を200 点に換算 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から 1 科目選択 200 点
第一次試験	英語(試験時間1時間40分、300点)	<u>英語(試験時間1時間、200点)</u>

	小論文的な要素を含む。英和、和英辞書持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能の無いものに限る。 なお、第1問を40分、第2問を60分と設定し、第1問と第2問の間に15分間の休憩を設ける。 第2問では、日本語による英文要約および小論文的な要素を含む。	<u>英語で書かれた文章に対して、英単語・英文法等の基礎的な知識を問うとともに、和訳、記述および記号選択等により英文の理解度を問う。辞書の持込不可。</u> <u>小論文(試験時間1時間、200点)</u> <u>出題文に英文を含む。資料(文章、図、表等)に基づいてその内容を日本語で要約するとともに、自分の意見を日本語で論述する力を問う。英和、和英辞書の持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能の無いものに限る。</u>
	事前提出物(与えられた課題に関する研究レポート(2,000字程度)、100点	<u>(事前提出物は廃止)</u> <u>出願時に、第二次試験の口頭試問(プレゼンテーション)で発表する内容のタイトル(30文字以内)および発表内容に関するキーワードを5個提出すること。</u> <u>※ 第二次試験でのタイトルの変更は不可。</u>
第二次試験	口頭試問(900点) 試験時間:1人35分程度(事前提出物に基づいたプレゼンテーション(15分)と質疑応答(20分程度))	口頭試問(試験時間一人35分程度、900点) <u>プレゼンテーションおよび質疑応答を以下の通り実施し、総合的に評価する。</u> <u>・プレゼンテーション 15分</u> <u>課題:自分の関心に沿って、音楽や音、あるいはそれらの文化について具体的な問いを立て、調査・分析・考察等を行ったうえで発表しなさい。その際、結論も提示すること。</u> <u>発表は、原則としてスライド(PowerPointやGoogleスライド等)をディスプレイに投影して行うこと。ただし、印刷資料を配布することは妨げない。</u> <u>・プレゼンテーションに基づく質疑応答 20分程度</u>